

2017

平成29年

- 2017 (平成29年) 2月 一般質問において 一問一答方式を本格導入 **65**
- 3月 議会活性化等特別委員会を設置 **66**

2017

65 一問一答方式を本格導入

議会での議論の更なる活性化と、より分かりやすい議会運営を目指して、平成27年2月定例会から、従来の「一括質問一括答弁方式」に加え、「一問一答方式」を試行的に導入してきたが、平成29年2月定例会から本格導入した。

一問一答本格導入

2月定例会から沼津市議会 人数制限も撤廃

沼津市議会議員は12人、市民は12人、市民への情報提供や意見交換を目的とした「仮称」市民との会」を市内で試行的に実施した。

沼津市議会議員は12人、市民は12人、市民への情報提供や意見交換を目的とした「仮称」市民との会」を市内で試行的に実施した。

沼津市議会議員は12人、市民は12人、市民への情報提供や意見交換を目的とした「仮称」市民との会」を市内で試行的に実施した。

平成29(2017)年1月14日 静岡新聞



©阪野貴也

- 3月 新東名高速道路駿河湾沼津 スマートインターチェンジ開通
- 9月 INN THE PARK オープン **67**
- 2018 (平成30年) 2月 「沼津市議会 大規模災害対応指針 - 議員の災害対応行動マニュアル-」を策定



議会活性化へ「市民との会」 沼津市の特別委が意見交換

沼津市議会議員は12人、市民は12人、市民への情報提供や意見交換を目的とした「仮称」市民との会」を市内で試行的に実施した。

沼津市議会議員は12人、市民は12人、市民への情報提供や意見交換を目的とした「仮称」市民との会」を市内で試行的に実施した。

平成29(2017)年11月14日 静岡新聞

66 議会活性化等特別委員会を設置

市民に開かれた議会の実現に向けて、議会活性化等に関する調査・研究を行うため、地方自治法第109条に基づく特別委員会「議会活性化等特別委員会」を設置。委員会では、市民への情報提供や意見交換の場として「(仮称)市民との会」なども開かれ、市民から議会に対する様々な意見をいただいた。



67 INN THE PARK オープン

林間学校などで利用されていた旧沼津市立少年自然の家が民間事業者によりリノベーションされ、泊まれる公園「INN THE PARK」としてオープン。右上の写真は昭和48(1973)年6月に供用開始された当時の少年自然の家。

- 2019 (平成31年) 2月 公益社団法人日本フェンシング協会と包括連携協定を締結

- 令和 2019 (令和元年) 7月 全議員にタブレット端末を導入 **68**
- 2020 (令和2年) 3月 議員発議により沼津市手話言語条例を制定 **69**
- 8月 加藤学園高等学校 甲子園交流試合出場



タブレット端末の操作方法を確認する市議＝沼津市役所

タブレット端末導入

沼津市議会はこのほど、ペーパーレス化や製本、差し替えなど事務作業の軽減が見込める。情報伝達の迅速化や事務作業の効率化など、議員活動の充実を図る。タブレットは、持ち出しも可能。市議会や常任委員会などで活用していく。議案や報告事項に関する資料を電子化することが必要になる。

令和元(2019)年8月6日 静岡新聞



オンライン委員会の様子

68 タブレット端末を導入

平成29(2017)年に設置した議会活性化等特別委員会の調査・研究の結果を踏まえ、議会のICT化として、議会・議員活動の充実や効率化を図るため、全議員にタブレット端末を配付。議案や報告事項の資料を電子化して本会議や常任委員会で活用するほか、現在ではオンライン会議にも利用している。



手話関係団体との意見交換

69 沼津市手話言語条例を制定

平成29(2017)年から2年間、民生病院委員会において手話の普及を所管事務調査のテーマとして調査・研究が進められ、令和元(2019)年6月に沼津市手話言語条例検討協議会を設置し、手話言語条例の制定に向けて協議を重ねてきた。令和2年2月定例会において「沼津市手話言語条例」が議員発議にて上程され、全会一致で可決した。



議案の提案説明をする議員と手話通訳者

2020 令和2年

2020

- ### 世の中の出来事
- 2017(平成29年) 九州北部豪雨
 - 2019(令和元年) ラグビーワールドカップ 日本で開催
 - 2020(令和2年) 新型コロナウイルス感染症が世界中で拡大